

社説

縣會議員として 適當な人物は誰れ

石城郡民十七萬人の代表として縣會議員を改選すべき日は愈々二十五日に迫つた。而も普通選挙施行後第一回の選挙であるから、共に與へられた選挙権を、吾等の有する清き一票を行使するに於ては極めて慎重の考慮を拂はねばならぬ。吾等の選出する縣會議員如何によつては、直接地方産業、行政の進展に即ち影響を與へる。吾等の生活に多大の影響を與へる。更に平易に言へば吾々が情實に驅られたり、權勢に威壓されたりしてその信賴する候補者に投票せぬやうな事があれば、各自の上にも不利な政治が行はるやうな結果にもなるわけである。殊に今回の選挙が重大な所以は明年四月行はる、代議士選挙の前哨戦であるからである。お互ひに久しい間の不景氣には飽きる程苦しまされてゐる。吾々は飽きるまで進取的な積極的な政策によつてこの景氣を挽回して貰ひ、度い故に吾々は石城地方民として最も適切な而も人格圓滿、穩健着實で無慾、事しのぞんで實行力のある人を縣議に選ばねばならぬ。石城の天地は實に多事多端である、疲弊し切つてゐる農村を見よ、更に又經營者も勞働者も困窮の極に達してゐる。炭礦の状況を見よ、特殊な問題については小名浜商港問題あり、平小鐵道問題あり、更に數へれば石城地方に於ける施設事業は實に枚擧げに遑げない。故に此際吾等の選出する縣會議員は徒らに空理空論の人であつてはならぬ。飽きる程強き勇氣のある實行力に富んだ人で而も無慾な候補者を選ぶ事が肝要である。吾人の投票は絶対に人を驅られず吾等の權利を正しく行使する事を忘れてはならぬ。

有権者の望む可き 縣會議員候補者として 山崎吉平君を推薦す

縣會議員改選期は来る二十五日行はる、管で實に目眩の間に迫つて來た。此際吾等は如何なる候補者に投票すべきであるか、實に深重なる考慮を要する問題である。政治は生活であるといふ事は誰れでも信じてゐる事である。政治が悪ければ吾々は決して幸福になり得ない。吾々が幸福な境遇を欲し、楽しい、華やかな生活を望むならば政治家に完全なる者を選ばねばならぬ。政治家には往々にして策をのみ弄し、宣傳のみ極めて巧みな人がある。然しか、る場當りの人は政治をして事實に反映せしむる事が出来ない。言ふは易く行ふは難いといふ眞理である。此点から考へて吾が山崎吉平氏は政治家として至れり盡せりと云つてよい。山崎氏は決して辯舌の人ではないが然し實行力のある人物事に着眼したる死すともやり遂げる強い勇氣と力を持つてゐる。過去に氏が携はつた飯野村長としての村政、又は氏の事業に於て氏の強い實行力が窺はれる。氏が三期の業の間飯野村長に盡力した結果今や飯野村は廣く模範村となつてゐるではないか。將來の政治家には是非とも氏の如き穩健着實の實行力のある人を選び縣民生活の安定を計つて貰はねばならぬ。山崎氏は人格、識見の卓越せる現縣會議員木村清治氏の後繼者として最適當者である。萬一氏が落選する様な事があつては木村氏の面目に關するのみでなく地方民の一大損失である。有権者各位は山崎氏の人物を公平に御批評の上正しい御同情をよせられん事を切望する。

山崎氏危うしと知り

山崎與三郎氏や木村清治氏等が 熱烈なる依頼狀を配布

縣會議員候補者山崎吉平氏は立派な材であるが、山崎吉平氏の居る能はず、殊に大浦村は元村長在石城地方農村の疲弊してゐるしやう覺悟してゐる人が極めて多かつた。故に此際吾等の選出する縣會議員は徒らに空理空論の人であつてはならぬ。飽きる程強き勇氣のある實行力に富んだ人で而も無慾な候補者を選ぶ事が肝要である。吾人の投票は絶対に人を驅られず吾等の權利を正しく行使する事を忘れてはならぬ。

農村に理解ある人を 縣議に選舉せよ

石城地方農村有志の叫び

縣會議員改選期に當り如何なる展上改善すべき事が非常に多く候補者に投票すべきかについて農村に理解ある人を選舉せよ。農村に理解ある人は、農村の疲弊を直多の規模である、石城地方農村の疲弊について彼等は語る。石城地方の疲弊した農村の實状を見るに實に可憐さうである。町場等の子供等が活動寫眞を見る位に僅か十銭を得るために農民は汗水を流して作つた茄子等は恐らく百個に近い數を背負ひ出さねばならぬ。

努力爲致度午失禮以書中御依頼申上候 敬具 平町 山崎與三郎

拜啓秋冷の候愈々御清祥の段奉賀候陳者這回縣會議員改選に際し友人山崎吉平君候補者に相立申候同志は人格高潔熱誠事に當るの士にして最も適任と存せられ候然るに目下の情勢は甚だ樂觀を許さざるもの有之同情に不堪次第に御座候依而貴下の御援助に依り當選の榮を荷はせし君の平素の氣概により地方自治の發展に

直接現金にありつづける養蠶を行ふために、否行はねばならぬために養蠶家は睡眠不足、理新法などの煙りのために所謂「メクチャ」が最近非常に増加したといふものもその氣の毒な一現象である、然しか、其事は枝葉に屬する事であるが、石城郡の農業者のうちその八割は小作農である。自作は一割八分地主は二分である。即ち百人のうち八十人までは一反歩から一石九斗余を收穫してそのうち一石一斗位を地主に對し小作米として納めねばならぬ悲惨な境遇にある。故に地主のみが益々大をなして中農以下は日に日に衰微する。勿來町等では大正二年に農業者三百八十六戸の農業資源のうちその半分は僅か六戸の所有、残りの半分は全體の四分の一、残りの四分の一は三十四戸で持つてゐる。これによれば小農困窮の慘が窺はれるが、大正十五年の調査に中農即ち四分の一を十六人で所有してゐる階級の人が殆んど破産し小農になりその分は大地主の手に歸してゐる。これを仰ぐれば想像するに、農村の富豪は預金を産業組合に預け乍らその信用ある故を以て組合から借金だけはする。従つて小農は金を借りられぬ、結局資金欠乏となり満足な肥料を買へぬため數年來收穫の減じた事は農會の統計に表はれてゐる。而も一方小作米は明治四十年前後の肥料が多かつた當時に制定した額たけを地主に課せられる。かうした矛盾も農村を疲弊させる原因である、その他數へれば改良すべき点は農村に於て枚舉に遑がない。故に吾々は農村の疲弊を救ふて貰ふために農村に理解を有つ縣會議員を選舉せねばならぬ。云々

断乎たる決意を

有権者に披瀝す

山崎吉平氏の挨拶

縣會議員候補者として大多数の人々から推薦された飯野村山崎吉平氏は十二日大浦町、及び四倉河其他各町演説會場にて立候補の挨拶をなしたがその趣旨を一言に盡せば大体次の如くである。(在文責記者)

私は今回地方民同志各位からの御推薦により縣會議員候補者に立候補する事になりましたが不肖私は淺學菲才決してその器ではないと思つてゐます。然し各位の御同情により幸ひに當選致す事が出来ましたならば私は粉骨碎身縣治のために努力する覚悟であります。辯舌は私の決して得意とする處ではありませんが私の決意に御同情あらん事を懇願致します。尚ほ山崎候補が各有権者に配布した依頼状左の如し。

謹啓秋冷之候愈々御多祥奉賀上候陳者今回の縣會議員改選に際し小生不圖も候補者に推薦せられ菲才を不省立候補致し候此上は貴下の御同情を仰ぎ幸に當選の榮を擔はば赤誠以て縣治に努力致し度存念に御座候何卒微力の小生に就き格別の御同情を以て御援助被成下度乍失禮以書中御依頼申上候 草々教具
九月九日 山崎吉平

六時から十二時迄

大暴風雨襲來

小名濱測候所で警告

平署で消防組と共に警戒

小名濱測候所では十四日午前十一時左の如く發表豪雨襲來に關し平警察署其他に警戒方の警告を發して來た。

十三日九州方面を襲つた大暴風雨は紀州沖を通過し十四日午前十一時頃關東地方を過ぎ北進したので十四日午後六時頃から深夜十二時頃までの間豊間、江名間乗合自動車を抱連

夫人奇禍

今朝死亡

石城地方は大暴風がある見込みである。警告に接した平警察署では非番巡查及び消防組員を召集し萬一を警戒する筈である。なかや洋服店

轉手東京府下小松川町四八一安項奇貨に遭ひ手當中の永山小平澤清(二一)が運轉し十三日午後五時六時二十分頃平町二丁目を進行死した。享年三十五歳。夫人中同町二丁目十一番地なかや洋服店永山小平妻永山ヨシ(三三)功を得しめた人として死を惜し六)が小供を抱いて横切らんとした際該自動車が約二十哩の速力であつたため急停車する能はず同人の胸部を前後兩車輪で踏いたので被害者はそのまゝ危篤に陥り十四日午後五時遂に死亡した。抱いてゐた子供はヨシが隣られる際投げつけたので幸ひ負傷がなかつた。運轉手安澤清は過失傷害致死罪として平署で取調中である。

永山氏夫人逝く

別

樺太旅行通信

鐘

十二日 湯の川温泉にて旅のわびしさがいよいよ深い十三日はトリスト修道院にゆき、湯の川に二浴した。旅情を感ずるに充分である。海岸の温泉場だ、料亭からはさざめく男、藝妓と三昧の音がきこえてくる、このとき私は嚴肅の裡にも醇醇的な気分にした。トリスト修道院……チラット私の頭をひらめいたことは外人の別荘などもあ

五等選舉民の使命

四倉町演説會場に於て

平町辯護士眞木桓氏の演説

古語に「恒産なき者は恒心なし」とあるが、この思想は、「収入財産の一定の確立がなければ自己の主張主張がでない」との意味で、從來は一定の財産の無い貧乏人には選挙権を與へてゐなかつた、即ち制限選挙が行はれてゐたのは誤つた觀察である。財産がなくとも立派な人があり、獨立の生計を営まざるも大學教授もある。要は選挙権を完全に行使し得る能力さへあれば之に與へてよい。即ち國民全部に選挙権を與へるといふ理想に向つて普通選挙が布かれた。今回の縣會議員選挙はその第一回の試練である。國家が與へたる選挙権を正當に行使するや否や其の人が國家に忠實なるや否やにある然らば吾々は國家の公權である選挙権を如何に行使すべきか、抑も何時の時代でも政治は正義の大道によらねばならぬ。「政」とは「正」である。古くして而も新しい言である。平凡にして而も深刻な言である。時代と國境とを超越せる眞理であると言ふも過言ではない。凡そ立憲政治に於て選挙は實にこの政治の重要な経路であつてその行使如何は國政又は縣政の死活を決する重大問題である。故に有権者はその投票に當つて深慮熟慮せねばならぬ、自己の投票が如何に貴く、且つ嚴肅なものであるかを公平に考察し内省する事を忘れてはならぬ。かくして投せられた一票は自己を生かす清純にして貴い一票である。然し事實に於ては其の清純と貴さがどれ程まで具体化されてゐるか、思へば

かまぼこ製造始

支月の秋に機嫌克く毎度の御引立に御禮申上ます。愈々かまぼこの時季に入りまして本年は鮮魚類多く特に新鮮なる原料と風味に注意致しましてお機嫌を伺ひます。大漁は獨りかまぼこの材料でなく、鯉の大漁は申上る迄もなく、茲に當店の生命たる鯉節も近年に無き大漁にて品質の優良、價格の低廉はこれ又近年に無く何卒兩者の御需要を御進め申上ります。

平町二丁目
かまぼこ製造 藤市蒲鋒店
鯉節問屋 藤市蒲鋒店
電話三〇五番

お世話なきお惣菜
味の良き薩摩あげ六枚金十錢

私は甚だ遺憾の点が多いと思ふ。選挙當日有権者が投票所に赴いて投票の前に立つ時果してどれだけの嚴肅さを持つてゐるか、その時に投票せんとする一票が自己の死活を決し同時に自己の一家、一村の運命を左右し更に國家の盛衰に關し同胞縣民の福利を決する貴重な鍵である。もし有権者が以上の深刻な点を深慮するならばこの一票に熟慮を重ね良心の命する處に従はねばならぬ。諸君の聰明の及ぶ限り良心の鏡を曇らせず事なしに明確なる判断を以て断乎として投票せねばならぬ。諸君の貴き一票が若し低級な動機、僅かな感情で決せられれば國民として不忠實な所以である。例へば自分は民政黨だから政友會の人には投票出来ぬといふ如き考を持つ人がある。これは低級な動機である。自分の黨派の候補者は馬鹿で役立たぬが、たとへば立つ人でも政友會の人には投票出来ぬと考へるのは選挙権

